

東北関東における大震災に関して

NPO法人ガーデンを考える会
会長 水野 隆

3月11日に発生した東北関東大震災におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、我々ガーデンを考える会の関係におきましても、全貌はまだまだ不明なところがありますが、会員の園芸店や生産者等々の少なからずの方々が、今回の地震による被害を受けております。

今まで我々が体験したことの無い未曾有の大災害でもあり、今後の復興にどれだけの時間や人力がかかるのか全くもって想像する事も出来ません。また、沈静化されていない原子力発電所のトラブルに関しましても大変に気がかかる事でもあります。

このような中、我々ガーデンを考える会におきましては、とりあえず直ちに出来ることは限られており、会員個々の支援活動に委ねることしかできませんが、やがては少しでも復興活動にお役に立てるよう、出来る限りの知恵を絞ってまいりたいと思っています。

被災され、不自由な生活を余儀なくされている皆様が一日でも早く、安心した暮らしに戻れます事を願って、日本の復興に向けた努力を皆さんと一緒に頑張っていきましょう。

「ガーデントライアルIN 八ヶ岳2011」

予定数お申込み 御礼

1月から募集を開始しました9月27～28日の展示商談会「ガーデントライアルIN 八ヶ岳 2011」は、募集予定小間数を上回る申込みを頂き、ありがとうございました。

3月25日の主旨説明会は、東日本震災のため中止させていただきました。説明会につきましては、後日お知らせします。

ガーデントライアル事務局

ガーデントライアルに関する問合せは事務局（TEL 052-571-7911）まで。

ガーデントライアル HP:<http://www.npogarden.com>



今月のコラム

今、園芸業界はビジネスチャンス！



アップルウェア株式会社
丸山 盛生

2011年の春の商戦がいよいよ本格的に始まるようとしているのに、世界のあちこちの不穏な動きで色々な素材や食料の価格が上がり、加工業者を苦しめようとしている。

なかでも原油、鉄、小麦粉やトウモロコシの穀物類が大幅に値上がりし家計を圧迫し始めている。

我々の園芸業界にとっても他人ごとではなく、原料高の製品安状態がまだまだ続きそうで各企業の業績に大きな影響がはじめている。

2010年度の総務省の統計で、1世帯当たりの「園芸品・同用品」の支出金額が発表されていたが、2009年比で2.3%減の9,066円でここ数年間10,000円を超える年がない。

9,066円ということは、4,500万世帯で計算すれば約40,00億円市場にまで下がったことになる。

最も売れていた10年以上前は5,000億円のマーケットと言われていたが、その数字には到底追いつかない数字に成り下がってきたものである。

ただ、園芸が売れてないのかと言えば単にそうではないと思う。売れている内容と価格に大きな変化があると考えられる。植物であれば、今まで人気があった花苗が大きく売上を下げ、量で30~40%ダウン、単価で20~30%下落し、売上金額ではピーク時の半分近くになっている。

いくら野菜苗の人気があり、毎年20%~30%伸びても分母が違うのでなかなかカバーできない。

容器（プランター類）で考えても菜園コンテナは、ここ数年間は毎年120%以上の伸びはあるが、花苗用のプランターや、花や観葉植物等の植え替え用のポットが10%以上のダウンをしていたのでは売上を維持するのは並大抵のことではない。

そろそろこの業界も価格を自分達で決定できる商品開発をしていかなければ、少子化が始まるようとしている日本では企業の存続すら難しくなっているのである。

レジャー白書2009年度版でみれば、「園芸・庭いじり」に参加した人口は4,030万人で前年の3,260万人から800万人も増加している。順位も13位から12位に上がっているのにもかかわらず、売上は下がっているという妙な現象である。

この要因のひとつに、冒頭にも述べたデフレスパイラル現象による単価ダウンがある。

生産農家、製造メーカー、小売店舗いずれもが供給過多による異常な同等商品競争から派生していると考えられ、世界で日本の園芸商品の価格が最も安いと言われている所以である。

日本人は今まで商品開発を含む技術力で世界と戦ってきたのに、園芸業界ではこの精神を忘れてしまっているのではないかと・・・。

2000年をピークに7~8年下がり続けた園芸参加人口が一転して増加し始めた時代に、価格だけでなく本当のニーズを掴みチャンスを生かす経営戦略が今求められ、いち早く実行できる企業が大淘汰時代から生き残っていくのである。

このたびの東日本大震災により被害をうけられました皆様に心からのお見舞いを申し上げます
震災に遭われた皆様のご無事、一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます



カエデ
kaede

リックパースコンテストに1112作品

エクステリア関連ソフトウェア開発の(株)リックは、同社のCADユーザーを対象とした「第1回リックパースコンテスト2010」の受賞作品を発表した。

コンテストは、昨年9月に作品を募集し、11月に全国で開催された「リックユーザーフォーラム」各会場での来場者による投票と、Webからの投票をもとに最終審査が行われ、総数1112点の中から下記の各部門受賞作品が決定した。

- ◇エクステリア賞 桑原斉美氏
- ◇ガーデン賞 (有)エクステリアの森・中村達也氏
- ◇ライティング賞 (株)トップテクノ・佐藤正和氏
- ◇ViewSTYLE賞 フェイズプランニング・坂井貴詞氏

なお、受賞作品は同社Webに紹介されている。

<http://www.rikcorp.co.jp/event/perspective-contest/kekka/>



【エクステリア賞】桑原斉美氏



【ガーデン賞】中村達也氏

横浜植木

新ブランド「グリーンレシピ」がスタート

横浜植木(株)は恒例の見本市で新ブランド「グリーンレシピ」をスタートさせた。園芸関係アイテムを従来のガーデンセンターに加え、雑貨店などでも幅広く扱ってもらうための商品群・提案の総称で、大きく三つに分けて紹介された。

ひとつは全くの園芸初心者に向けての提案。カラフルなポットとインドアグリーンを自由に組み合わせる楽しんでもらう試みや、ハーブの栽培セットなどが提案されたが、従来商品と大きく違うのがパッケージング。シンプルな色分けで分かりやすい商品構成や、商品を引き立てるシンプルなタグ、そこに「土のレシピ」や「育てるレシピ」など簡単な園芸知識をプラスすることで、手にとって「楽しそう」、レシピを読んで「なるほど」の分かりやすさを目指した。



園芸に全く興味がなかった人たちを振り向かせる試みが充実。透明容器に入った植物とカラフルな鉢を自由に組み合わせる楽しみや「見て楽しい」をコンセプトに色分けされた栽培セット・用土など

会員紹介

彩りを与えよう!

長谷川園芸 長谷川直哉

3月11日の東日本大地震。当園のある茨城県も被災地となりました。水道・電気のライフラインは止まり、農場の中も商品の散乱・ベンチの倒壊。元に戻せるか不安になりましたが、周りの手助けもあってなんとか元に戻りつつあります。

テレビ・ラジオからは、東北の被災地の状況が毎日のように流れてきます。本当に心が痛みました。そして、そんな時考えるのが花の生産に対する疑問と不安。

世の中に役に立てるのか? 続けていいのか? 必要なものなのか? 自問自答の日々でした。

そんな中、テレビから流れてくる被災地の倒壊家屋や道路ばかりの灰色の映像。そこで思ったこと。

花には色がある。赤・青・ピンクに黄色やオレンジ。
だから、景色に彩りを与えよう。生活に彩りを与えよう。
そして、人々の心に安らぎを与えよう。

自分なりの答えを出して、これから花づくりに励みます。

<http://www.hinuma8787.com/>





カエデ
kaede

 東日本大震災によせて

こんな時だからこそ、園芸業界の活性化を

中島商事株式会社 代表取締役社長 中島吉之



2011年3月11日、東北地方を中心にマグニチュード9.0という巨大地震が日本の国を襲いました。この地震でお亡くなりになった多くの方々に心よりお悔やみ申し上げます。また、現在も被災されている多くの方々には、心よりお見舞い申し上げます。

私も地震が起こった当日は千葉県の幕張におり、生まれて初めての大きな地揺れ、駅前の液状化、異常な交通の混乱、はたまたコンビナートから立ち上がる噴煙までを目の当たりにしてまいりました。その後、なんとか愛知の会社へ戻り、会社として何ができるのかを考えているのですが、現状の混乱の中（3月15日現在）では、なす術がないというのが正直なところ。何もできない自分に対しては募るばかりです。なるべく早いうちに被災地の方々には、義援金を送るなり、物資を提供するなりしなければならぬと思っています。是非一人でも多くの業界関係者の方々の協力を心よりお願い申し上げます。

この様な状況で一つだけ言える事は、今年は（この様な年だからこそ）被害の無かった会社や個人が今まで以上に仕事を頑張って、園芸業界を引っ張るしかないという事です。園芸業界を盛りあげ、経済を活性化する事が我々園芸業界の企業人としての絶対の使命です。ここで我々が自粛ムードで意気消沈（無理ありませんが）してしまって、園芸消費者の消費マインドが鈍ってしまうと、園芸業界にとってもまた日本全体にとっても非常に大きなダメージとなる事は言うまでもありません。この様な年だからこそ、園芸業界を盛り上げる事が絶対に必要です。業界や会社は、その元気な経済で被災地の方々に支援していただきたいと考えております。

最後になりましたが、東日本大震災でお亡くなりになられました多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の方々におかれましては一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成 23 年 3 月 15 日

 生産者部会より

アルテルナンテラ ・ ポリゴノイデス

昨年のガーデントライアル in 蓼科、バラクライングリッシュガーデンでも目を魅いていたアルテルナンテラ ・ ポリゴノイデス。関西圏ではアルテルナンテラと言えば秋のアキランサスがメジャーですが、こちらは銅葉の大型品種です。

ガーデニング素材、寄せ植えなどに利用価値が高く、空間演出する際のイメージ作りなどには最適です。

耐寒性は有りませんが、耐暑性にすぐれ土壌を選ばないので活躍の場は多いでしょう。

関西支部 兵庫県 三井フローラ

